

大jest Tsukamoto Dai Digest

DAI通信 第18号



静岡型「地方創生」へ 自民改革会議の提言を反映

静岡県議会9月定例会(10月15日閉会)では、一般会計に19億7千5百万円を追加する本年度補正予算案が可決されました。補正予算は、県内の人口減少の歯止め、新成長産業の育成、雇用創出等、静岡型「地方創生」の取り組みを推進する為の経費等からなっており、地方創生は、本県の最重要課題であり、その道筋を示すものが、今議会でも審議した「総合戦略」であります。去る7月13日この総合戦略の素案に対し、我が会派は「取り組むべき施策」数値目標の見直し、「地方創生先行型交付金への対応」等を知事に提言致しました。今回の補正予算には、我が会派の提言の趣旨も一部反映されており、本県経済の活性化、ひいては地方創生につながるよう努力してまいります。

補正予算には、富士山静岡空港新幹線新駅関連調査事業費6百万円も計上されており、この事業は、新幹線新駅技術検討委員会の意見に基づき、新設トンネルが、既設トンネルに与える影響を解析する為に実施するもので、新幹線新駅の実現の為に必要となる調査であります。昨年7月、我が会派の議員有志で「自由民主党新幹線空港新駅推進議員連盟」を立ち上げ、県当局と協議し、その実現に向けて、取り組んでいくこととしております。現時点では、JR東海との協議は、残念ながら進んでおりませんが、速やかに事業を執行し、新駅設置に向けて、一步一步、着実に前進していくよう努力してまいります。

補正予算には、スポーツ交流推進事業費1億円と債務負担行為2億円も計上されており、これは、ラグビーワールドカップ2019の開催準備を進める為、組織委員会に対し開催都市分担金を3年間にわたり、各年度1億円ずつ支出するものであり、その使途は、日本大会に向けた広報試合開催場の準備費用等であり、先日開催されたイングランド大会では、日本は惜しくも決勝トーナメント進出はなりませんでしたが、これまでラグビーを見たことがなかった県民にも、新鮮な感動を与えたものと思えます。2019年の日本大会開催に向け、県内の開催機運を盛り上げるとともに、万全の対策、準備をしてまいります。

この他、継続している地震・津波対策を前倒しで実施する市町への交付金、静岡空港ターミナルビルの混雑に対応する為に要する経費等が計上されております。

今後、暮らしの「いま」と「未来」をしっかりと見つめ、住みやすい地域づくりに努めてまいります。これからも「大jest」や「ホームページ」で議会活動を掲載していきますので、是非ご覧頂き、皆様のご意見を頂ければ幸いです。

塚本 大

自民党の活動

私が所属している自民党は、静岡県内に67の市町支部があります。今年度、私は、自民党静岡県支部連合会の政務調査会の副会長を務めさせて頂いております。

自民党は、毎年、政務調査会の活動として、県民の声を県政に反映させるために、全ての支部の皆様から要望を聞かせて頂く会合を開いております。今年度も、県内8会場で、67全ての市町支部の皆様から地域の実状・要望を聞かせて頂きました。



支部
聞き取り

また、自民党は、毎年、さまざまな分野・業種で働いている方々の声を県政に反映させるために、県内のそれらを代表する組織・団体の皆様から要望を聞かせて頂く会合を開いております。

今年度も、中小企業対策連絡協議会、農林水産対策連絡協議会、厚生問題対策連絡協議会を開催し、それぞれの分野・業種で働いている方々から現場の実状・要望を聞かせて頂きました。



中小企業対策
連絡協議会

頂いたご意見・ご要望を、来年度予算に反映出来るよう全力で取り組んでまいります。

<今年度出席団体>

- 農林水産対策連絡協議会
 - ①農業関係団体
 - 静岡県農業協同組合中央会
 - 静岡県経済農業協同組合連合会
 - 静岡県厚生農業協同組合連合会
 - 全国共済農業協同組合連合会静岡県本部
 - ②農地・森林関係団体
 - 静岡県農業会議
 - (公社)静岡県茶業会議所
 - 静岡県土地改良事業団体連合会
 - 静岡県森林組合連合会
 - 静岡県木材協同組合連合会
 - (公社)静岡県山林協会
 - (公社)静岡県林業会議所
 - ③水産関係団体
 - 静岡県漁業協同組合連合会
 - 静岡県信用漁業協同組合連合会
 - 静岡県水産加工業協同組合連合会
 - 静岡県漁業信用基金協会
 - (公財)静岡県漁業振興基金
 - 全国合同漁業共済組合静岡県事務所
- 厚生問題対策連絡協議会
 - ①社協関係団体
 - (福)静岡県社会福祉協議会
 - 静岡県民生委員児童委員協議会
 - 静岡県社会福祉法人経営者協議会
 - (N)静岡県ボランティア協会
 - 静岡県保育者連合会
 - 静岡県児童養護施設協議会
 - (一財)静岡県老人クラブ連合会
 - 静岡県老人福祉施設協議会
 - 静岡県知的障害者福祉協会
 - 静岡県手をつなぐ育成会
 - (公社)静岡県精神保健福祉会連合会
 - (福)静岡県社会福祉協議会
 - ②民生・衛生関係団体
 - (公社)静岡県病院協会
 - (公社)静岡県柔道整復師会
 - (公社)静岡県看護協会
 - 静岡県看護連盟
 - (一社)静岡県助産師会
 - (公社)静岡県薬剤師会
 - (一社)静岡県理学療法士会
 - (一社)静岡県歯科医師会(オブザーバー)
- 中小企業対策連絡協議会
 - 静岡県中小企業団体中央会
 - 静岡県食品産業協議会
 - 静岡県機械金属工業協同組合連合会
 - 静岡県中小企業団地協議会
 - 静岡県商工会連合会
 - (一社)静岡県商工会議所連合会
 - 静岡県商店会連盟連合会
 - (一社)静岡県建設業協会
 - (公財)静岡県生活衛生営業指導センター
 - 静岡県ホテル旅館生活衛生同業組合

9月定例会 本会議

自民改革会議 (代表質問)

自民改革会議としては、本会議において、以下の内容を代表質問致しました。

- 知事の政治姿勢について
- 県都構想
- 富士山世界遺産センター(仮称)
- 県職員の不祥事の防止
- 美しい「ふじのくに」まち・ひと・しごと創生総合戦略について
- 会派提言への対応と実効性の確保
- 戦略の財源確保と来年度当初予算編成への位置づけ
- 世界一美しい半島伊豆について
- 伊豆の課題認識と克服への決意
- 伊豆半島ジオパークの

答弁内容の一部紹介

(2)美しい「ふじのくに」まち・ひと・しごと創生総合戦略について

①会派提言への対応と実効性の確保

「県民意識を踏まえた施策の充実を図ること」や、「施策の効果を適切に測るための数値目標の見直し」、「地方創生先行型交付金への対応」等について、知事に政策提言した。我が会派の政策提言をどのように戦略に反映したのか伺う。

【知事答弁】

頂いた御提言、例えば、災害等の課題を抱えた地域に進出する企業への支援や、若い女性の就労ニーズの施策への反映、本県の強みを生かした移住・定住の促進、地域の実情に応じた少子化対策の推進等々、まさに地方創生に向けて取り組まなければならない施策である

と認識しております。また、御指摘のございました新規就農者の定着や、高齢者の就職、多文化共生等の数値目標の見直しを含め、総合戦略の原案にしっかりと反映しております。

※美しい「ふじのくに」まち・ひと・しごと創生総合戦略とは

国は、人口減少克服・地方創生に向けて「長期ビジョン」と「総合戦略」を平成26年12月27日に閣議決定しました。これを踏まえ、全国の自治体は「地方人口ビジョン」と「地方版総合戦略」を平成27年度中に策定する必要があります。

静岡県の「地方版総合戦略」のことを「美しい「ふじのくに」まち・ひと・しごと創生総合戦略」といいます。

①地震・津波対策アクションプログラム2013の構築について

静岡県は、人口減少克服・地方創生に向けて「長期ビジョン」と「総合戦略」を平成26年12月27日に閣議決定しました。これを踏まえ、全国の自治体は「地方人口ビジョン」と「地方版総合戦略」を平成27年度中に策定する必要があります。

②安全で安心できる犯罪の起きにくい社会づくりについて

①連携のあり方

②主権者教育

③教育行政について

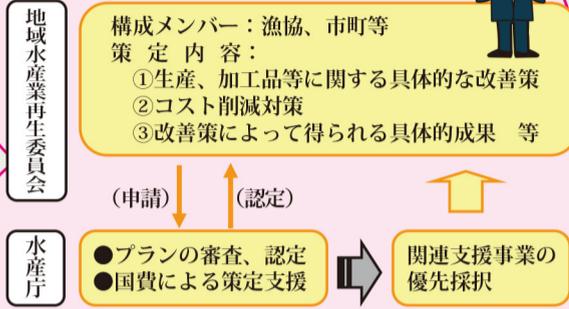
④日本一安全・安心な県土の構築について

浜の活力再生プラン策定について

「浜の活力再生プラン」の必要性

- 水産業は燃油や資材の高騰、魚価の低迷、漁業者の減少等、長年厳しい状況が継続。
- 漁業を取り巻く状況や課題は地域によって様々。
- 漁村地域が一体となり、実態に合ったコスト削減や高付加価値化に取り組み、漁業者の所得向上を目指す。
→「浜の活力再生プラン」

「浜の活力再生プラン」の策定の流れ (イメージ図)



県の役割

- 各種手続きにおいて、事業を所管する水産庁と各地域水産業再生委員会との橋渡し役となる。
- 「地域水産業再生委員会」において、基本的にオブザーバー委員として参画し、当該再生委員会の運営を積極的に支援する。

「浜の活力再生プラン」策定のメリット

- 魚価の向上、コストの削減による漁業者の所得向上
- 漁村地域の連携強化、活性化
- 国が実施する関連施策の優先採択

《関連施策名とその内容及びプランとの関連性》一部紹介

省燃油活動推進事業 漁船の上架、船底やプロペラの清掃、改善や減速航行を行い、漁業経費の削減を目指す。	水産物流通機能高度化対策事業 ・老朽化した荷捌き施設を、高度衛生管理に対応する施設への改修を図る。 ・EU対応の荷捌所を建設し、食の安全性を訴える中で、魚価の上昇を図る。
もうかる漁業創設支援事業 省エネ型船型や省エネ型エンジン、LED漁灯の導入等による燃油消費量の削減、新造船建造による修繕費用等の削減を図る。	新規漁業就業者確保基金事業 新規漁業者の確保を支援することで漁業継続を図る。
産地水産業強化支援事業 6次産業化に向け、漁協の直販店、食堂を開設し、魚価の向上、所得の向上を目指す。	水産加工業経営改善支援事業 気候変動による水揚時期のずれ等により、漁獲物の変動が激化する中、水産加工業者の経営を安定させることにより、消費者への水産物の安定供給を確保し、魚価の上昇を図る。
安全推進員等養成事業 船舶職員養成講習会を地元で開催することにより、後継者を育成するとともに漁業者負担の軽減を図る。	

◆県内各地域の策定状況 (平成27年10月1日現在*)
県内には17漁協あり、その内13漁協で16のプランの策定に取り組んでいる。現在までに14のプランが水産庁から承認されている。

漁協名	進捗状況*1	漁協名	進捗状況*1
焼津	承認	戸田	承認
小川	承認	静浦	申請中
大井川港	承認	田子の浦	承認
いとう	承認	由比港	承認
伊豆	申請中	清水	承認
	承認	南駿河湾	承認
	承認	遠州	承認
	承認	浜名	承認

漁業者の所得向上を目指す為、漁村地域が一体となってコスト削減や高付加価値化等、地域が出来る取り組みをまとめた「浜の活力再生プラン」の策定を支援する。

本県の水産業の振興のためには、漁業者、流通・加工業者、行政、観光業者等が、地域の資源を生かした水産業の将来を共に考え、一つひとつの取り組みを確実に進める必要があります。この為、県は、県内16地区で、「浜の活力再生プラン」の策定を支援しております。県と致しましては、策定中の「総合戦略」において、「浜の活力再生プラン」を位置付けることとしており、今後とも、各地域の特色を生かした水産業の発展に努めて参ります。

【質問】 地震・津波対策アクションプログラム2013については、約9割が順調に進んでいるが、沿岸部の住民の津波への不安が払拭されたとは言えない。県の取り組みを積極的に情報発信する等、沿岸部の不安を払拭するための努力もする必要があると考えるが県の所見を伺う。

【危機管理監 答弁】 本県では、東海地震を想定し、35年以上にわたって、災害に強い県土づくりを推進して参りました。さらに南海トラフ巨大地震に対応する為、防潮堤の高上げ等のハード対策と、避難等のソフト対策を組み合わせる等多重防衛による津波対策を進めるとともに、自然との共生や環境との調和に配慮し、潜在自然植生を生かした「ふじのくに森の防潮堤づくり」等、全国に誇る施策を進めているところであります。これらの取り組みについて、広報誌やメールマガジンにより広報している他、企業訪問に際して個別に説明しております。今後は、さらに、地震防災センターを拠点にした情報発信を充実するとともに、年明けに開催される「防災産業展 in 静岡」や横浜市で開催される「震災対策技術展」等、県内外のイベントにおいて「防災先進県静岡」を積極的にPRする等、沿岸部における津波に対する不安の払拭に努めて参ります。

【質問】 本県経済は、大・中堅企業を中心に、収益の改善が見込まれてきているが、その回復テンポは全国と比べてなお緩慢であり、大多数を占める中小・零細企業の経営環境は厳しい状況にある。地域経済の本格的な景気の回復を図るためには、本県の経済を牽引する産業の育成と、それを支える中小・零細企業に焦点を当てた施策が重要である。

【質問】 本県経済は、大・中堅企業を中心に、収益の改善が見込まれてきているが、その回復テンポは全国と比べてなお緩慢であり、大多数を占める中小・零細企業の経営環境は厳しい状況にある。地域経済の本格的な景気の回復を図るためには、本県の経済を牽引する産業の育成と、それを支える中小・零細企業に焦点を当てた施策が重要である。

【質問】 本県経済は、大・中堅企業を中心に、収益の改善が見込まれてきているが、その回復テンポは全国と比べてなお緩慢であり、大多数を占める中小・零細企業の経営環境は厳しい状況にある。地域経済の本格的な景気の回復を図るためには、本県の経済を牽引する産業の育成と、それを支える中小・零細企業に焦点を当てた施策が重要である。

【質問】 県は、総合計画後期アクションプランで、「新たな水産王国静岡を構築する」という目標としているが、「ま

【質問】 県は、総合計画後期アクションプランで、「新たな水産王国静岡を構築する」という目標としているが、「ま

【質問】 県は、総合計画後期アクションプランで、「新たな水産王国静岡を構築する」という目標としているが、「ま

【質問】 県は、総合計画後期アクションプランで、「新たな水産王国静岡を構築する」という目標としているが、「ま

第33回静岡県暴力追放・銃器根絶県民大会 焼津市安全安心なまちづくり大会



同大会が焼津市で開催され、県内から千人を超える方々が出席し、大会宣言*1が採択されました。今後も安心・安全な社会の実現に向け、努力して参ります。

*1大会宣言 一部抜粋
静岡県暴力団排除条例の基本理念である「暴力団を恐れない」「暴力団に資金を提供しない」「暴力団を利用しない」「暴力団追放三不運動」に「暴力団と交際しない」をプラスワンとして加えて強力に推進し、「暴力団と銃器犯罪のない安全で住みよい静岡県」の実現に向けて邁進することを宣言する。

【経済産業部長 答弁】 県内の中小・零細企業に対しては、どのような支援が行われているのか伺う。

中小・零細企業対策については、まず、県制度融資の成長産業分野支援資金に、金融機関と企業が利率を自由に設定する所定金利方式を導入したことで、より低利な資金の借入が可能となり、設備投資が促進されております。また、新商品開発や販路開拓を現場で支援する為、「ものづくり専門支援員」の配置や、「静岡ものづくり革新インストラクター」の養成にも取り組んでおります。さらに、経営強化に資する人材を首都圏から本県企業に引き込む拠点づくりにも取り組むこととし、関連予算案を今議会にお諮りしております。

瀬戸川の親水公園整備

瀬戸川水系河川整備計画(平成14年3月策定)では、焼津市総合グラウンド地点は、「スポーツ施設と一体となった親水公園」として、整備されることになっております。

朝比奈川の河川公園視察

瀬戸川につきましては、親水公園整備をはじめ、遊歩道整備、堆積土砂の浚渫等、以前から、地域の方々からご要望を頂いております。私は、県議会初当選以来、地域の方々や地元市議会議員と連携し、瀬戸川の整備促進に取り組んで参りました。結果として、遊歩道整備につきましては、中断していた整備を昨年度から再開させて頂いております。また、堆積土砂につきましても、順次、浚渫させて頂いております。

豊田橋上流浚渫

橋山川の遊歩道視察

今回、親水公園につきましては、整備に向けて、地元自治会関係者、市議会議員、焼津市及び島田土木事務所等関係者と意見交換を行い、近隣の親水公園の視察を行いました。今後も地域の方々と力を合わせて、早期整備実現に向けて取り組んで参ります。

静岡県議会議員

つかもと大

県政報告

Tsukamoto Dai

2015 December

〈発行日〉平成27年12月1日

〈発行所〉

〒425-0062

静岡県焼津市中根新田1157

TEL.054-624-1555

FAX.054-624-1333

〈発行人〉塚本 大

dai



大規模スポーツイベント対策特別委員会

(1) 概要・目的

2019年のラグビーワールドカップの本県開催や2020年の東京オリンピック・パラリンピックの開催は、本県の魅力の世界への発信や交流の拡大、スポーツの振興等に寄与するとともに、本県経済に大きなインパクトを与える絶好の機会です。

そこで、これら大規模スポーツイベントを活用した本県経済の活性化を図る施策について調査・提言することを目的に当委員会が設置され、私も委員となりました。

(2) 調査の観点

- ・ライフステージに応じたスポーツの推進や市町及び民間における合宿誘致の促進と受入態勢の強化等、スポーツを通じた交流の推進について調査・検討する。
- ・本県ならではの世界水準の資源群や文化プログラムを通じた本県の魅力発信、スポーツツーリズムの創出による観光誘客の増大について調査・検討する。
- ・スポーツ産業の育成や県産品の販売促進等の産業振興に向けた取り組みについて調査・検討する。

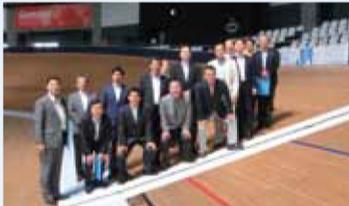


『伊豆ベロドローム(静岡県伊豆市)』視察

東京オリンピックの自転車競技の会場と目されている常設の屋内木製走路である伊豆ベロドロームと、日本サイクルスポーツセンター内のBMXコース、MTBコースの概要説明を受け、それぞれを見学致しました。

<概要>

- ・静岡県伊豆市に所在する自転車競技場。
- ・現在、世界規模の国際大会は、全て屋内型の板張り250mtトラックが標準規格となっており開催されている。そこで、日本人選手の競技力の向上・育成と国際大会の誘致・開催を目的に、平成23年9月に竣工、翌年10月に日本サイクルスポーツセンター内にオープン。ベロは、自転車、ドローームは、競技場の意味。
- ・木製トラックは摩擦が少なく、スピードが出る。日本では競輪が盛んなことから、従来、アスファルトのトラックが主流であった。その為、世界で主流の木製トラックでなかなか日本人選手が勝てない理由として、世界基準の木製トラック施設がないことが取り上げられ、世界で戦える選手の育成の為、日本初の屋内型木製トラックの競技施設として建設された。



・伊豆ベロドロームの魅力としては

- ①世界と同様の基準で走ることが出来る。
- ②天候に左右されず、プログラムごとのトレーニングが出来る。
- ③照明をつければ夜間でも練習が可能で、時間の制約を受けず、練習プログラムが実施可能。
- ④フェンスが低く、観客との距離が近い為、選手との一体感、臨場感が生まれる。
- ⑤周長が短い為、レース展開が速く、見て楽しめて面白い。

- ・構造……地上3階、地下1階 下部：鉄筋コンクリート造・上部：スチール造。システムトラス工法を用い、柱のない大空間を作り出している。
- ・観客席は、ワールドカップに必要な3,000席を確保している。施設全体を用いた最大収容人数は4,500人。
- ・自然エネルギーを利用し低コストでの運用を目指し、大量の井戸水の利用と、クールピット(地中熱を利用した換気システム)による空調を行っている。



- ・天井にトップライト(640㎡)がある為、自然採光により昼間の練習時には照明がなくても練習が出来る環境になっている。
- ・湿度が65%を超えると空調を稼働し、湿度を落とす。天気がよければ外気を取り入れることにより、木製走路の管理(湿度は40から70%の間で管理)をしている。
- ・デザイナーはドイツのラルフシューマン(北京オリンピックの競技トラックを担当)。最大傾斜は45度。設計速度は85km/hまでスピードを出してもスムーズに曲がることのできるトラックとなっている。

- 一 私学助成等の充実強化に関する意見書
- 一 難病対策の充実に関する意見書
- 一 ひきこもり対策の充実を求める意見書
- 一 障害児(者)医療・福祉の充実確保を求める意見書
- 一 地方創生に係る新型交付金等の財源確保を求める意見書
- 一 奨学金制度の充実を求める意見書
- 一 個人情報流出問題に係る万全な対応を求める意見書

「国への意見書」

※詳しい内容は、ホームページに掲載してありますのでご覧ください。

る環境を整えていきたい。

産業委員会

AIシステムを核とした農芸品の栽培技術開発・継承事業の内容と期待される成果について

AIシステムは、農家の高齢化や後継者不足により、今後失われていく可能性がある。ある熱心で研究心に富んだ農家の匠の技や熟練農家が持つ優れたノウハウを情報化し活用していくものである。

また、イチゴとミカンの2品目について、画像撮影、熟練農家等へのインタビュウ等、様々な方法により、作業内容や栽培環境に関するデータを集積し、就農者の

技術習得を助けるシステムの構築と普及を進めていく。この事業で確立した技術をベースに、生産者全体の技能の底上げを図り、品質向上と生産の増加につなげていきたい。

文教警察委員会

小学校において暴力行為の発生が増加している原因とその対策について

原因を一つに特定するのは難しいが、コミュニケーション能力が低下してきていることに加え、感情のコントロールを十分に出来ない児童が増えてきている傾向がある。対策として、子供達の対人能力を伸ばす

「人口減少対策」雇用創出、移住・定住の促進

「人間関係づくりプログラム」の教材資料を改定して、県内に広く配布をしている。また、スクールカウンセラーの更なる活用と、福祉の専門家であり、教職員と協同して組織的な対応を支援するスクールソーシャルワーカーの人材確保に向けて取り組んでいく。

8月30日(日) 静岡県議会議員 つかもと大 県政報告会開催

ご多用中のところ、大勢の皆様にご出席頂き、誠に有難うございました。県議会議員としての活動報告、又、皆様と意見交換をさせて頂き、充実した一時を過ごす事が出来ました。



次回、大ゲスト発行のお知らせ

第19号は、平成28年2月1日(月) 新聞折込み予定です。



静岡県議会議員

つかもと大 だい 事務所のご案内

〒425-0062 焼津市中根新田1157
 TEL 054-624-1555 FAX 054-624-1333
 E-mail tsukamoto-dai@almond.ocn.ne.jp
 http://tsukamoto-dai.com



QRコードを使って
ダウンロード